

## 令和元年度第5回小平市社会教育委員の会議要録

と き：令和元年12月17日（火）午前9時30分から10時35分

ところ：市役所5階 503会議室

### 1 出席者

小平市社会教育委員 9名  
傍聴者 なし

### 2 内 容

#### <議題>

資料に基づき、事務局から説明を行った。

- (1) 第50回関東甲信越静社会教育研究大会 埼玉大会（報告）

#### <事務局報告>

各課・各館より事業計画、実施事業等について報告した。

##### 【地域学習支援課】

- (1) 令和元年度青少年健全育成講演会（結果報告）
- (2) 第37回小平市中学校生徒意見発表会
- (3) 令和2年成人式
- (4) 第16回小平よさこいスクールダンスフェスティバル in 2020

##### 【公民館】

- (1) 第45回花小金井北公民館まつり（結果報告）
- (2) 第42回上水南公民館まつり（結果報告）
- (3) 中央公民館サークルフェア（結果報告）
- (4) 第32回津田公民館まつり（結果報告）
- (5) 第15回鈴木公民館まつり（結果報告）
- (6) 第47回小川公民館まつり（結果報告）
- (7) 第6回みんなでつくる音楽祭 in 小平（結果報告）
- (8) 第19回大沼公民館まつり

##### 【図書館】

- (1) 小平市立図書館条例施行規則の一部を改正する規則について（概要）
- (2) 第4次小平市子ども読書活動推進計画素案について
- (3) 東京文化財ウィーク2019企画事業・小平市立図書館講演会（結果報告）
- (4) 英語でおはなし会
- (5) 第40回ふるさとの新聞元旦号展
- (6) 本の福袋

日程第5<その他>

閉会

### 3 議題及び事務局報告についての意見・質疑応答

#### <議題>

#### (1) 第50回関東甲信越静社会教育研究大会 埼玉大会（報告）

##### 第1分科会

委員 人生100年ということに対する学びが多くでた。その中で、高齢者、子どもはよく対象として挙げられるが、青年から壮年にかけての方たちの社会教育が手薄なのではという話が気になった。また、久喜市がコミュニティースクールと放課後子ども教室を社会教育委員の立場から発表していて参考になった。

##### 第2分科会

委員 浦安市の回想法の展開と横浜市青葉区の市ヶ尾ユースプロジェクトについての活動の説明があった。

回想法に関しては高齢者を対象にした活動で、回想法をしながら引きこもりに対しての対応できるとの説明であった。

市ヶ尾ユースプロジェクトに関しては、町のいいところやPRを子どもたちが考え、大人がサポートをしながら活動しているとのことであった。

委員 高齢者の生きがいを求める事業について、社会教育の分野なのか、介護事業の分野なのか実践報告を聴いてわからなくなった。

##### 第3分科会

委員 2つの事例発表があった。

1つは公民館が主催で高校生をコミュニティコーディネーターに養成するという講座。NPO法人が関わっていて、シルバー世代の困りごとを高校生が解決しようというのがコンセプトになっている。実際の様子が画像で紹介され、すばらしい取り組みだと思った。

もう1つは、就業体験はどこ地域でもやっていると思うが、その中であえてその職場の困りごと、課題を出してもらい、それを就業体験の高校生が解決するという問題解決型の就業体験だった。これもNPO法人がしっかり関わっていて、高校生は主体的に就業体験に取り組み、受け入れる側も高校生の発想に目からうろこで、お互いにすばらしい刺激を受けているという事例発表だった。

また、分科会の資料はQRコードを各自スマホで読み取る方法で、資料は配付されなかった。とても斬新な内容であった。

##### 第4分科会

委員 全体で16のグループにわかれてのグループ討論で、我々のグループは人材発掘がテーマであった。腹を据えてやらないと人材発掘はできないと、人材発掘についてのアグレッシブなアイデアが出された。

##### 第5分科会

委員 社会教育のネットワークづくりをテーマにグループ討議があった。講演会の後、カフェを設けて語り合い、雑談の中からコミュニケーションが生まれるのではないかという感想があった。

## <事務局報告>

### ○令和元年度青少年健全育成講演会

委員 学校支援、放課後子ども教室の関係者の参加が3名となっているが、コーディネーターの研修として位置づけていると思うが、行事と重なったのか。これは学校教育においてとても重大な内容の講演だと思うので、今後は皆さんが参加できる方向でやっていただきたい。

事務局 各学校で比較的实施されている内容でもあり、そういった機会に聴いている方も多いのでは、と受け止めている。今後も機会があれば、紹介、案内をしていきたい。

委員 幅広い分野の方が学んでいく必要があると思う。今まで定例的に声かけをしていた以外の方にも声かけをしてほしい。

### ○公民館まつり

委員 各小中学校の生徒の作品が展示されて、地域と学校の連携ができていてとてもうれしく思う。保護者も自分の子どもさんの作品が選ばれて展示されているので、見に行きたいと言ってとても喜んでいるのはいいことだと思う。

### ○小平市立図書館条例施行規則の一部を改正する規則の制定について

委員 図書館ハンディキャップサービス利用登録申込書の字が細かくて見にくい。余白を少なくして見やすくしてほしい。今後、フォーマットを変えることがあれば要望したい。

事務局 今後、改定の際に書きやすい、見やすいということを念頭におきたい。

### ○第4次小平市子ども読書活動推進計画素案について

委員 特別な支援を要する子どもへの読書活動の支援というところで、一人一人の特性に配慮した図書を選定し、とあるが、どういった特性に配慮した、どういった図書を選定していくのか。

事務局 読書バリアフリー法というのができたところで、例えば点字の図書であるとか、音声の録音図書であるとか、そういったものを含め、メディアなど組み合わせて総合的に読書活動ができるといいかと思う。

委員 ブックスタートのボランティアの件で、今後継続して登用する計画、あるいは質の維持、向上のための計画はあるのか。

事務局 年に何回か研修等を行っている。年々、ボランティア数が少なくなっている面があり、ある程度のところでまた募集をかけ研修も重ねながら事業を実施していくこととなる。

委員 「スマートフォンが子どもたちの読書活動に影響がある、注意していく必要がある。」と書いてある一方で、ティーンズや子ども向けのホームページを作っている。スマートフォンは一つのツールであって、うまく利用するように仕向けるのが我々の努めであると思う。

事務局 5年前の計画段階ではなかなか出てはこなかった部分かと思う。5年経つとまた変化が出てくるかと思う。

委員 それには、計画に関与する人に子どもを入れる必要がある。子どもがどうやっているのかを見る。知らない人ばかりで議論をしても始まらないので、お願いしたい。

事務局 今後、研究していく。

#### ○英語でおはなし会

委員 この企画を実現した経緯と今後、拡大していく予定はあるのか。

事務局 もともと図書館と国際交流協会とで案内物を外国語で作成してもらうなどのやりとりがあり、今回、アメリカ人の先生を派遣してもらうこととなった。今後も継続をしていきたいと考える。

#### ○本の福袋

委員 福袋の中に入れたアンケートの結果を何かの形で発表するなり、図書館の利用の新しい形を考えて行ってほしい。さらに、アンケートを見ると図書館事業をどうやって知ったかという、図書館に置いてあるチラシで知ったというのが多く、広報の仕方もうまく考えて行ってほしい。

事務局 アンケートは図書館事業にフィードバックさせていきたいと考えている。図書館事業について、図書館の中のポスターやチラシで知ったという方がかなり多数いらっしゃるの、図書館に来ている方以外への広報、周知が課題となっている。

委員 宣伝という意味では、図書館利用者にちょっとした声かけをするのが、一番効果があると思う。私も実際に素通りして帰ろうとしたところ声をかけてもらい手にとったというのもあり、職員にも心がけてほしい。

事務局 周知、見せ方のところでも、館の目立つ場所に置くなど工夫をしていきたい。